

| |
|------------------|
| 留 学 報 告 書 |
|------------------|

記入日:2019年10月6日

| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 政治経済学部 |
| 留学先国 | アメリカ |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: カリフォルニア大学 現地言語: University of California, Irvine |
| 留学期間 | 2019年6月～2019年9月 |
| 留学した時の学年 | 2年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 2年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 |
| 帰国年月日 | 2019年9月19日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2022年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:9月中旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月中旬 3学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬) |
| 学生数 | 約31000人 |
| 創立年 | 1965年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨(\$) | 円 | 備考 |
|-----------|----------|----------|-----|
| 授業料 | 7115 | 806599円 | |
| 宿舍費 | 2112 | 237000円 | |
| 食費 | 1000 | 112000円 | |
| 図書費 | 200 | 22400円 | |
| 学用品費 | 50 | 5600円 | |
| 教養娯楽費 | 1000 | 112000円 | |
| 被服費 | 310 | 34720円 | |
| 医療費 | 0 | 円 | |
| 保険費 | | 20850円 | 形態: |
| 渡航旅費 | | 127000円 | |
| 雑費 | | 10000円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | | 1488169円 | |

渡航関連

渡航経路:羽田～LAX

渡航費用

| | |
|---------|----------|
| チケットの種類 | エコノミー |
| 往路 | _____ |
| 復路 | _____ |
| 合計 | 127000 円 |

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

American 航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2)

3)住居を探した方法:

先輩からのアドバイス

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

様々な国からの留学生や現地の学生と交流することができました。一階に共有スペースがあり、そこで食事の時間などに集まっておしゃべりをしたり作った料理を分け合ったりと、楽しい時間を過ごせました。ただ、キッチンにありがたなり、バスルームにハエがいたりと生活上少し不快に感じることもありましたが、オフィスの方に気軽に相談できるので特に困りませんでした。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

サマーセッションオフィス

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

アーバインはとても治安が良く犯罪に巻き込まれることはなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

WIFI の接続で困ることはなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ほぼクレジットカードで支払った

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

めんつゆ

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前にクレジットカードで支払った

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|--|---|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 16 単位 | <input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Sociocultural Anthropology | 文化人類学 |
| 科目設置学部・研究科 | sociology |
| 履修期間 | Session1 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に110分が3回 |
| 担当教授 | Egan, James |
| 授業内容 | 人類の歴史を文化的な面から学ぶ |
| 試験・課題など | レポートなどの課題はないが、毎回授業の前に教科書を読んでいく。テストは2回あり、選択問題とエッセイ問題がある。 |
| 感想を自由記入 | 教授の話すスピードがとても速くついていくのに必死だった。でも教授がとても優しく、オフィスアワーの時間に質問したら詳しく噛み砕いて説明してくれてテストも乗り越えることができた。内容は難しかったが、人種の違いや文化の違いについて様々な視点から学べることができた。 |

| | | | |
|---------------------|---|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Gender&Power | | ジェンダー | |
| 科目設置学部・研究科 | Sociology | | |
| 履修期間 | Session1 | | |
| 単位数 | 4 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に170分が2回 | | |
| 担当教授 | Lira,Stefanie | | |
| 授業内容 | Gender 格差が様々な権力構造の中で構築された仕組み | | |
| 試験・課題など | 試験はなし。その代わりにエッセイと、パワポを使ったプレゼンテーションがあった。 | | |
| 感想を自由記入 | 教授が留学生にとっても理解がある人で、サポートをしっかりとってくれた。歴史の中でどのように男女格差が生まれてきたかを学んだが、とても興味深かった。 | | |

| | | | |
|---------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| American government | | アメリカ政治 | |
| 科目設置学部・研究科 | Political Science | | |
| 履修期間 | Session2 | | |
| 単位数 | 4 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に170分が2回 | | |
| 担当教授 | Boushey, Graeme | | |
| 授業内容 | アメリカ政治の歴史と現在の政治形態について学ぶ | | |
| 試験・課題など | 試験は2度あり、エッセイ問題。ディスカッションは参加するだけで加点された。 | | |
| 感想を自由記入 | 人気の教授で、内容は難しかったがパワポの内容を予習復習して授業にのぞめばだいたい理解できるが、わからない部分を質問すれば丁寧に答えてくれる。アメリカ政治について知識がほぼなくてもついていける。 | | |

| | | | |
|---------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Micro Economics | | ミクロ経済学 | |
| 科目設置学部・研究科 | Economics | | |
| 履修期間 | Session2 | | |
| 単位数 | 4 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義、演習(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に170分が2回 | | |
| 担当教授 | Antonio Rodriguez | | |
| 授業内容 | 需要と供給などの基礎的なミクロ経済学について学ぶ | | |
| 試験・課題など | Midterm が2回、Final Exam が2回ある。 | | |
| 感想を自由記入 | 計算問題やグラフを使った問題を多く扱ったため、英語がわからなくてもなんとかなることが多く、他の授業に比べると比較的楽だった。だが宿題が多かったため自習の時間はかなり必要だった。 | | |

| |
|---------------|
| 留学に関するタイムチャート |
|---------------|

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

| | |
|----------------|-------------------------|
| 2017年 1月～3月 | |
| 4月～7月 | |
| 8月～9月 | |
| 10月～12月 | |
| 2018年 1月～3月 | |
| 4月～7月 | |
| 8月～9月 | |
| 10月～12月 | |
| 2019年 1月～3月 | TOEIC 受験 二次募集申し込み、出願 |
| 4月～7月 | ビザ手続き、寮手続き、英語の勉強、渡航 |
| 8月～9月 | 帰国 |
| 10月～12月 | 留学報告書 |

留学体験記

| | |
|---------------------------|--|
| 留学しようとした理由 | 大学に入ったら留学しようと考えていて1年の時にフィリピンに語学留学に行きました。そこで英語の勉強だけでなく現地の文化に触れることができ、日本とは全く違う文化に驚き刺激を受け、もっと他の国にも行って様々な文化に肌で感じたいと思ったから決めました。 |
| 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備 | やはりこのサマーセッションプログラムは、現地の学生と混ざって授業を受けるため英語力は必要だなと感じました。授業では論文や教科書を読んでからのぞまなければならない形式のものが多く、留学前から長文になれておくことや、ポッドキャストなどを活用してリスニング力をつけていくといいと思いました。 |
| この留学先を選んだ理由 | 同じサークルの先輩が去年行って興味を持ったのがきっかけです。日本人が少ない環境で現地の学生と混ざって授業を受けることでアメリカの大学では学生がどのように学んでいるのかを知りたいと思いこのプログラムを選びました。 |
| 大学・学生の雰囲気 | アーバイン校は留学生向けのサポートが充実していると聞いていましたが、実際に行ってみて本当に、教授、オフィスの方、学生など優しい人が多くいて何度も救われました。学校全体の雰囲気ものんびりとしてとても過ごしやすかったです。 |
| 寮の雰囲気 | 様々な国から来た留学生と交流することができました。昼間は共有スペースでそれぞれ勉強し、夜はゲームをしたりしました。 |
| 交友関係 | 最初は自分から話しかけるのをためらっていましたが、少しずつ授業で隣の席の子に話しかけたり、寮のキッチンや共有スペースで話しかけたりと積極的になることを心掛けました。寮でできた友達とは休日に海に行ったりして遊びました。 |
| 困ったこと、大変だったこと | 最初は慣れない寮での生活に疲れました。特に、節約のため自炊を毎晩していたのですがそれが大変でした。あとはやはり英語力です。英語は全然得意ではなかったため、最初は人と話すのを避けてしまっていました。ただ寮での生活も英語も次第に少しずつ慣れていきました。 |
| 学習内容・勉強について | 最初は教授や周りの学生が話すスピードに全くついていけない、宿題さえも分からない、ディスカッションで何も発言できない、という状況で何度もメンタルがやられました。しかし留学生だということを周りの人にアピールして助けを求めたら本当に優しく手助けしてくれる人がいます。どんなに英語に自信がなくても最終的には何とかできました！ |
| 課題・試験について | 課題の量がとても多かったです。特にリーディングの課題がどの授業もありました。すべて完璧にこなすのは無理なので、取舍選択をしてなにをどうやって自習するのがベストなのか常に考えて勉強していました。効率的に勉強して試験や課題を乗り越えることを意識していました。 |

| | |
|------------|---|
| 大学外の活動について | 大学のアクティビティが充実していたので、休日や放課後は利用することが多かったです。ハリウッドやラスベガスへのツアーや英会話のプログラムなどがありました。そこで友達も作ることができました。また、寮の近くにジムがあったため、気分転換に利用していました。 |
| 留学を志す人へ | 私は本当に英語力に自信がなくて出発前は不安だらけでした。ただ実際に行ってみると、どんなに絶望的に感じる状況があっても、自分の努力しだいで必ず何とかなることがわかりとても自信ができました。積極性、柔軟性が絶対に身につくと思うので少しでも迷っている人はぜひ参加してほしいです。絶対に良い経験になるはずです。 |

一週間のスケジュール(例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 午前中 | 授業 | | 授業 | | | | 遊び |
| | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 課題 | 課題 | 遊び |
| 午後 | 予習 | 授業 | 予習 | 授業 | 課題 | 課題 | 遊び |
| | 課題 | 予習 | 課題 | 課題 | ジム | 遊び | 遊び |
| 夕刻 | ジム | ジム | ジム | ジム | ジム | 遊び | 遊び |
| 夜 | 課題 | 課題 | 課題 | 課題 | 予習 | 課題 | 遊び |